

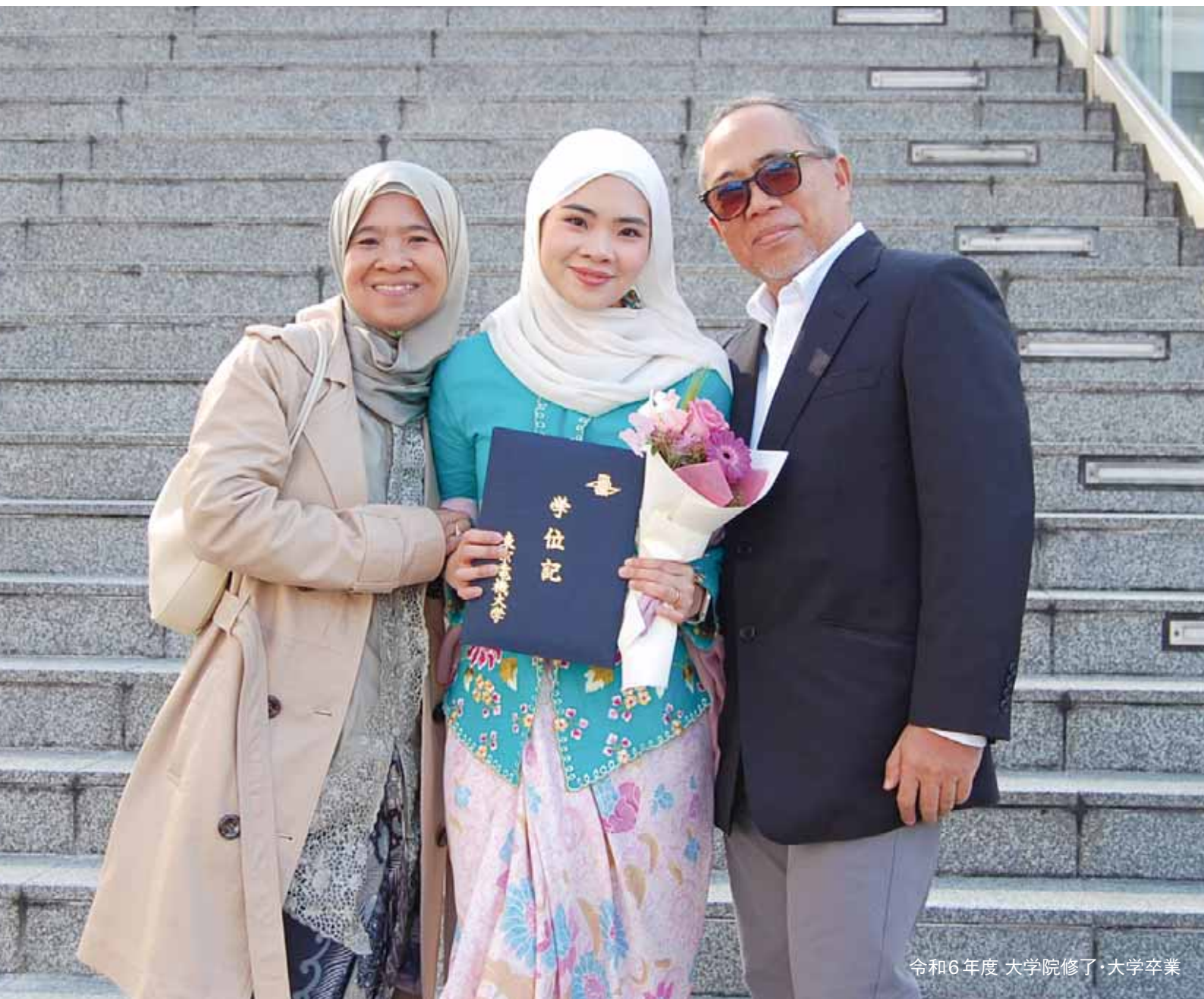
TDU *Agora*



令和6年度 大学院修了式・大学卒業式を挙行 1
 未来は“とんがり”がつくる ~新たな総合型選抜入試「とんがりAO」を導入~ ... 3

CONTENTS

| | |
|---------------------|---------------------|
| TOPICS 4 | News 6 |
| キャンパスよもやま情報 5 | Information 7 |





特集

令和6年度 大学院修了式・大学卒業式を挙行

3月17日に日本武道館にて、「令和6年度大学院修了式・大学卒業式」を挙行了しました。

大学院博士課程4名（課程による博士3名、論文による博士1名）、大学院修士課程486名、学部生2,001名が本学を巣立ちました。

好天にも恵まれ、令和6年度の修了式・卒業式も、修了生・卒業生に加え、多くのご家族の方にご出席いただきました。また併せて式典の様態をライブ配信いたしました。

式典では、はじめに、管弦楽団の演奏とグリー倶楽部のリードによる校歌斉唱がありました。

次に、射場本忠彦学長より、「今日までは自分のための人生ですが、明日から自ら進む道を見定め、社会に貢献する自立した人になるための心構えとして重要なことは、「何が正しいか、何をすべきかを自分で考え、批判し、判断し、失敗を恐れずに行動すること。その結果は自分で引き受け、自分で責任を持つ」ことと考えます。



射場本学長 式辞



石塚理事長 祝辞



森戸校友会理事長 祝辞

科学技術の進化は急速で、社会変化も激しく、将来を予測できない時代を迎えている中で、人の心を理解し「技術は人なり」のマインドを備えた技術者として、「技術で社会に大いに貢献される」ことを切望いたします、「一生につなぐ毎日は東京電機大学にある」とはなむけの言葉が贈られました。

続いて、大学院・大学の学位記授与並びに初代学長丹羽保次郎先生のご功績を記念し、在学中の優れた研究業績等をおさめた学生に対し丹羽保次郎賞の授与が行われました。また、本学において特に優秀と認められた学生に対し学長賞の授与があり、各専攻・学科等の総代及び各賞受賞者の代表等が学位記並びに表彰楯を受け取りました。

続いて、石塚昌昭理事長並びに森戸義美校友会理事長より、祝辞が述べられました。

石塚昌昭理事長からは「誠実に職務をこなし、また、信念をもって主張をし、人の言葉を真摯に受け止められる度量をもった技術者として成長していただきたいと思います」、「それぞれの初志を貫いて、世界に大きく羽ばたいていかれることを願ってやみません」との言葉が贈られました。

森戸義美校友会理事長からは「私たち(校友会)と一緒に、母校東京電機大学の発展に協力してください。私たちと一緒に、交流し、学び、成長を続けましょう」とのメッセージが贈られました。

その後、卒業生を代表して理工学部理工学科生命科学系の師岡勇輔さんが「『技術は人なり』という言葉を胸に、世界に貢献できる人間になれるよう、精進していく決意です」と謝辞を述べました。

最後に、管弦楽団によるジャン・シベリウス作曲交響詩「フィンランディア」の記念演奏が終了すると、壇上の先生方が降壇し、修了生・卒業生の間を通過して退場されました。

コロナ禍という正解のない厳しい学生時代を乗り越えた修了生・卒業生の皆様の今後の活躍を祈念いたします。



「好きなアニメや漫画なら
科学で語れる」

「数学愛がハンパない！」

Tongari

「工学アイデアが
SNSでバズった！」

「絶対に女性エンジニアになりたい！」

「家電を分解して仕組みに感動！」



特集

未来は“とんがり”がつくる

～新たな総合型選抜入試「とんがりAO」を導入～

☆2025年度に実施する入試より、工学部(全6学科)を対象に実施

☆出願資格として5分類・20項目の「とんがり要件」を設定

本学では、2026年度入試(2026年4月入学者対象)より、工学部(全6学科)を対象に、新入試制度「総合型選抜(とんがりAO)」を導入します。

一つ分野やことがらに情熱を持って取り組める“とがった”素養があり、本学の工学部で学ぶことを第1志望とする受験生を募集する入試制度です。出願資格には、「本学工学部が本当に出会いたい“とがった個性や経験”を持つ受験生像」を具体的に明示した5分類・20項目の「とんがり要件」を設定します。

本学は「とんがりAO」において、受験生の皆さんには「個のパワーを炸裂させてほしい」、「夢や情熱を大いに語ってほしい」と考えています。「工学的なアイデアを提案してSNSでバズった」、「家電を分解して仕組みに感動した」、「好きなアニメや漫画なら科学的な視点で講義できる」、「医療、建築、ファッション、コスメ、サブカルなどを科学的な視点で講義できる」、「数学や物理への『愛』が大きい」、「女性技術者になって活躍するキャリアプランがある」、そんな皆さんが受験されることを待っています。

*ここで言う「講義」や「語り」は、雑談的な語りで少なくとも30分以上は話ができるほどの知識量があることを想定しています

「とんがり要件」は、本学が定める学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を徹底的に追求し、具体化した出願要件であり、それに合致する、相当する受験生のみを求める以上、結果として多くの皆さんから志願していただくことは叶わないかもしれません。それでも本学は、学園の使命である「技術で社会に貢献する人材の育成」を実践していくためにも、これからの社会を担うのは“とがった”人材である、つまり「未来は“とんがり”がつくる」という信念のもと、新入試制度「とんがりAO」を通じて「本当に出会いたい受験生」の志願を求めます。

詳しい情報はこちらから▶



葛飾区 令和6年度 第4回 テクノロジーカフェ開催

研究推進社会連携センター

2月14日、東京都葛飾区主催の令和6年度 第4回テクノロジーカフェが開催され、今回、本学は初めて登壇しました。テーマは「産学連携で脱炭素社会へ挑戦！ものづくり企業と考える政策と技術」です。渡邊客員教授が脱炭素政策の最前線、佐藤准教授が脱炭素技術で注目されるパワーエレクトロニクス技術を活用した脱炭素化の研究の紹介を行いました。講演後、今後ものづくり企業に求められるアクションについて意見交換を実施しました。

● 本学講演テーマ

講演者 渡邊政嘉 客員教授
講演テーマ 脱炭素政策の最前線

講演者 工学部電気電子工学科 佐藤大記 准教授
講演テーマ パワーエレクトロニクス技術を活用した脱炭素化への取り組み



渡邊政嘉 客員教授の講演



佐藤大記 准教授の講演

高等学校修学旅行

中学校・高等学校

3月4日～7日にかけて、高校2年生は九州へ修学旅行に行きました。

福岡県は太宰府天満宮、長崎県は平戸城や平和公園・原爆資料館、熊本県は熊本城などを巡り、自主研修では現地でしか食べられないものを食べ、現地に行かないと見ることができない資料や景色を眺めました。

特に、原爆資料館では被爆者の方から当時の様子やその後の生活の様子についてお話を伺った後、爆風によって折れ曲がった鉄骨や原爆が落とされた時間に止まったままの時計などの展示を見たため、考えさせられることが多かったです。



日本三名城のひとつ 熊本城



時間が止まったままの時計

東京千住キャンパス

AI活用てづくりえほんワークショップ



3月1日に東京千住キャンパスにて、小学3・4年生とその保護者を対象とした「親子で学ぶ！AI活用てづくりえほんワークショップ」を開催しました。講師として佐賀県伊万里市でDX勉強会を開催されている団体『IX-Party』にお越しいただきました。

ワークショップでは、参加者が生成AIの基本を学んだ後、実際に生成AIと協力して絵本のストーリーとイラストを生成し、絵本をつくりあげました。最先端の技術を使ってつくりあげた、世界に1冊だけのオリジナル絵本です。最後にそれぞれが作成した絵本を披露する子供たちの誇らしげな表情が印象的でした。

(総務部 深澤)

埼玉鳩山キャンパス

「福島県ホープツーリズム」に参加



2月6・7両日にわたりTDU産学交流会では、2月例会としてスタディツアープログラム「福島県ホープツーリズム」へ参加しました。TDU産学交流会は埼玉産業人クラブ会員企業の技術向上・産学交流推進を目的に結成され、今年で35年目となります。

今回の研修では、複合災害を経験した福島の現在の姿と復興に向けチャレンジを続ける人々との対話を通じ、震災・原子力災害の教訓、復興、逆境からの脱却について考え、危機管理に対する産業人としての向き合い方を学ぶ機会となりました。

(理工学部事務部 高山)

令和6年度 高等学校卒業証書授与式

3月15日、東京小金井キャンパスにて、第74回高等学校卒業証書授与式が厳粛に執り行われ、227名の卒業生が晴れの日を迎えました。式では、校長より「学ぶというのは自分自身が変わっていくこと。そして自分の世界を築き上げていくこと」という式辞が述べられ、新たな未来へ踏み出す卒業生へ力強いエールが送られました。

また、卒業生代表による答辞では、「私たちは、過去の過ちを繰り返さないよう努める義務を負うだけでなく、急速に進化するテクノロジーと共存し、次世代を切り拓く役割を担っている」という覚悟の言葉が綴られ、未来を担う世代としての決意が伝わるメッセージとなりました。さらに、在校生の成長を願い、卒業生から記念品としてトロフィーケースが贈呈されました。中学生時代にはコロナによる一斉休校を経験し、高校入試も困難な状況の中で乗り越えてきた卒業生たち。その努力と成長が感じられる、感慨深い式となりました。(高等学校教頭 今福)



ピックアップ! 出版局



★出版局より、新刊の紹介や話題の本、イベントなどのホットな情報を掲載!

2025年2月の新刊は、定番教科書2点です!



電気法規と電気施設管理 令和7年度版

竹野正二・浅賀光明 著 A5判・344頁 定価3,080円

電気関係の法令に重点を置き、電気関係の初学者向けにやさしく解説。また電験受験者が習得しておかねばならない基本的な事項をまとめた。



自動車の運動と制御 第3版

安部正人 著 A5判・338頁 定価4,400円

自動車運動工学全体を網羅したバイブル的テキスト第3版。MATLAB/Simulinkによる自動車の運動の数値計算例を取り入れ、各章の例題や章末問題を大幅に充実。

<ピックアップ! 重版本>

高校から大学、技術者のための教科書や高度専門書、電子工作、自学自習書、読み物など、利用者の要望に応えるために重版を決定した書籍をご紹介します。



第3級ハム 集中ゼミ

吉川忠久 著 A5判・264頁 定価2,090円

第3級ハムの出題傾向分析に基づいた構成。出題のポイントを絞り込み、項目ごとにわかりやすく解説。頻出問題を中心にして、練習問題を豊富に収録。



航空無線通信士 試験問題集 第2集

QCQ企画編 著/吉川忠久 著 A5判・320頁 定価2,860円

吉川先生による詳しい解説を掲載し、試験合格に向けて実力を養成。ネイティブ・スピーカーによる英会話問題・欧文通話のリスニングをWebで公開し、英語試験対策も充実。

★出版局ではメールマガジンを配信しております。ご希望の方は、下記URLよりご登録ください!
<https://web.tdupress.jp/mailmagazine/>



偉人の履歴書 vol.26

「私は考えたのではなく、ひたすら実験を繰り返したのです」

X線を発見し医療に偉大な恩恵をもたらした

ヴィルヘルム・レントゲン

Wilhelm Röntgen

● 1845-1923

- | | |
|-------|-----------------------------------|
| 1845年 | ドイツのレンネップで生まれる。3歳の頃オランダに移住する。 |
| 1865年 | チューリッヒ工科大学で学び、物理学に興味をもつ。 |
| 1888年 | ヴュルツブルク大学物理学教授に就任。 |
| 1895年 | 陰極線を研究中、物質を通過し蛍光紙を光らせる謎の光線・X線を発見。 |
| 1901年 | 第1回ノーベル物理学賞受賞。 |
| 1923年 | 77歳で逝去。 |

東京電機大学編『偉人たちの挑戦2』東京電機大学出版局、2022年、p127。イラスト:宮島幸次

今月の俳句

教職員親睦会「千住俳句会」

歳とれど自前でこそその節料理
 焼き芋を土産に妻の笑み想ふ
 太鼓橋渡りて梅を探りけり

明(井川明)

七美男(松田七美男)

廼子(大園成夫)

Information

TDU ブランドブック「THE ESSENCE」改定発行



本学ブランドブック「THE ESSENCE」を改訂発行しました。在校生はもちろん、ご父母、卒業生や受験生、一般の方にご紹介することを目的に制作しています。キャンパスでの配付と共にWEBでも公開しています。ぜひご覧ください。



世界中から注目される秋葉原 発端はTDU

世界有数の電器街、秋葉原。通称「Akiha」。秋葉原は第二次世界大戦の終結直後に、戦時下の東京だったウチワを戦後までTDU学生が電子部品を扱うようになり、たまたまの集積で、急速に発展。その後、秋葉原は高層ビルや道路、デパートやデパート、そしてコンピュータ学園を築き上げて、現代の最先端の街であり続けている。そして日本発祥のパソコン、スマホやタブレット端末の発祥地としても、世界中から注目を浴び、多くの観光客が訪れている。秋葉原の発展に貢献した秋葉原の発祥地は、TDUだ。



「技術は人なり」

TDUの教育・研究理念「技術は人なり」は、戦時中後・戦後復興期に培われ、戦後復興期に於いて、日本発祥の研究開発が実用を成して技術者を育み、博識、多岐多岐の専攻に習熟し、独自の研究開発を推進し、技術のトップレベルを追求。1969年、最先端技術の研究開発に貢献した功績を表彰する賞として「技術者賞」を創設。研究で成果を挙げた。その後、ハードウェアとソフトウェアの両方で研究開発を進め、日本発祥の最先端技術者を育て、1999年にTDU卒業生に於いて、日本の科学技術発展の第一歩、また「技術者賞」(秋葉原電器専門学校) (秋葉原電器専門学校) 功績を表彰した。

「技術は人なり」の理念は、戦時中後・戦後復興期に培われ、戦後復興期に於いて、日本発祥の研究開発が実用を成して技術者を育み、博識、多岐多岐の専攻に習熟し、独自の研究開発を推進し、技術のトップレベルを追求。1969年、最先端技術の研究開発に貢献した功績を表彰する賞として「技術者賞」を創設。研究で成果を挙げた。その後、ハードウェアとソフトウェアの両方で研究開発を進め、日本発祥の最先端技術者を育て、1999年にTDU卒業生に於いて、日本の科学技術発展の第一歩、また「技術者賞」(秋葉原電器専門学校) (秋葉原電器専門学校) 功績を表彰した。



パソコン創成期をリードしたTDU

戦時中後・戦後復興期に培われ、戦後復興期に於いて、日本発祥の研究開発が実用を成して技術者を育み、博識、多岐多岐の専攻に習熟し、独自の研究開発を推進し、技術のトップレベルを追求。1969年、最先端技術の研究開発に貢献した功績を表彰する賞として「技術者賞」を創設。研究で成果を挙げた。その後、ハードウェアとソフトウェアの両方で研究開発を進め、日本発祥の最先端技術者を育て、1999年にTDU卒業生に於いて、日本の科学技術発展の第一歩、また「技術者賞」(秋葉原電器専門学校) (秋葉原電器専門学校) 功績を表彰した。

戦時中後・戦後復興期に培われ、戦後復興期に於いて、日本発祥の研究開発が実用を成して技術者を育み、博識、多岐多岐の専攻に習熟し、独自の研究開発を推進し、技術のトップレベルを追求。1969年、最先端技術の研究開発に貢献した功績を表彰する賞として「技術者賞」を創設。研究で成果を挙げた。その後、ハードウェアとソフトウェアの両方で研究開発を進め、日本発祥の最先端技術者を育て、1999年にTDU卒業生に於いて、日本の科学技術発展の第一歩、また「技術者賞」(秋葉原電器専門学校) (秋葉原電器専門学校) 功績を表彰した。

WEBでの閲覧はこちらから



編集後記

3月17日に大学院修了式・大学卒業式が執り行われました。好天に恵まれ、春の光に卒業生たちの笑顔は眩しく輝いていました。皆様、卒業おめでとうございます。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

TDU

学校法人東京電機大学 (総務部企画広報担当)

〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

TEL. 03-5284-5125 FAX. 03-5284-5180

E-mail:soumu-kikaku@jim.dendai.ac.jp

<https://www.dendai.ac.jp/>



この印刷は環境保護の為、印刷に伴う廃液を排出しないシステムで印刷されています。